

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

和庄中学校区 校番 13 学校名 和庄小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	○小学校の目標としてわかりやすく、前向きであるため、ふさわしく適切であると思う。 ○体力の向上について、もう少しコロナ禍ということを考慮して目標値を設定しても良かったのかもしれないと思った。ただ目標値を高く設定していただいているのは親としては有り難い。
目標達成のための方策の適切さ	A	○全体として設定は適切であると思う。個々の取組としての難しさは仕方ない部分であると思う。(コロナ対策を取りながらで難しい中よくできている。) ○ドリル、プリント、タブレットなどを使い、個々に合わせたスキルタイムや思考ツールを使い、考える力を養い、いろんな考え方を学ぶことは、とても学力向上につながると思った。 ○運動面ではコロナ禍で子供たちに何がたりないかを把握し、子供たちの興味も誘いながら実行していただいていると思った。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	○向上した点、向上が難しかった点がしっかり分析できている。 ○良い結果のものもしっかり分析され、更に向上するように努力されていると思った。
今後の改善策(案)の適切さ	A	○結果と分析からしっかりと適切な改善策が立てられている。 ○子供たちが自ら考え、自発的に学べるように考えられた改善策だと思った。 ○体力・運動能力の向上について、元々運動嫌いな児童に自主的に親しむようにするのは難しいと思うが、遊びやゲーム感覚で皆が楽しめるような運動を取り入れていけば、少しは違うかなと思う。
その他		○各学年の学力への取組がタブレットを導入したことで、どのようなメリットがあるのか分かりやすく説明されていた。(大人が見ても興味が湧く授業に感じた。また今後の課題も適切であると感じた。 ○防災教育について家庭ではなかなか難しいので、地域の方々が学校に来て学校と連携しているの教えてくださるのはとてもありがたい。 ○コロナ対応で大変な中、子供と向き合う時間を確保する努力をしていただいて、とてもありがたい。またスクールサポートスタッフの方が来てくださって良かった。 ○スッキリ体操、本当に気持ちが良くスッキリすると娘が力説しています。ぜひ続けてほしい。 ○6年生が朝の挨拶運動を行うことで、他の低学年の児童達も見習って自ら挨拶できるようになると思うので、定期的に続けていってほしい。 ○コロナ禍での防災教育は、今後の課題も残るところであるが、防災意識を高めるために児童主体の学習に取り組むことによって、家庭や地域にとっても意識改革ができるのではないかなと思う。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○目標設定値については、児童の現状をしっかりと考えてから設定する必要がある。特に体力面においては、コロナ禍で体力が低下しているので、児童の現状から目標設定をしていきたい。 ○今年度は参観日を一度しか行うことができなかった。学校関係者評価委員会に参加していただいたPTA代表の方に学校の取組を高く評価していただいた。これまで以上に家庭の協力を得られるよう学校の取組をしっかりと情報発信していこうと考える。
--------------------	--